

あつま 生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

主な記事

- ①エンジョイスports活動
- ②まが玉づくり/ガラス玉づくり/学社融合事業「陸上教室」
- ③ディスカバリーカルチャー/二十歳のつどい
- ④のぼりの掲揚について/道民の日/5月定例教育委員会/学校プール利用のお知らせ
- ⑤図書室だより
- ⑥放課後子ども教室活動紹介

エンジョイスports初開催！

—3歳から大人まで35人が参加—

5月20日(土)に、厚真町スポーツセンターで、「エンジョイスports活動」の第1回目が開催され、予想を超える未就学児から大人まで35人が参加しました。少子化により児童生徒が自主的にスポーツを選択、継続することが難しい現状を学校だけでなく地域も連携して取り組むことを目的に、小中学生とその保護者を対象に行いました。この活動は今年2月に着任した地域おこし協力隊スポーツ振興支援員の歸山さんの発案で実現したもので、「スポーツを通じた交流の場やスポーツに出会う機会にしてほしい」という願いで企画していました。

第1回目は、軽運動(ミニハードル、ラダー)の他、子どもたちが「やってみたい」と希望したバスケットボールとバレーボールを行いました。

当日、参加した保護者は「子ども達から元気もらった」、部活動や少年団以外のスポーツを体験した生徒からは「難しかったけど楽しかった」との声があり、スポーツの楽しさや参加者同士の交流が広がりました。

第2回は、7月8日午後1時からスポーツセンターで、軽運動・ダンスの開催を予定しています。



プロフィール

スポーツ振興支援員 **きやま ゆうた**
歸山 雄太

○出身地：苫小牧市

○趣味：ゴルフ

○普段の活動について

部活動の地域移行、少年団の事務局、スポーツ推進委員、スケート少年団指導など、様々な活動から厚真町のスポーツ振興に取り組んでいます。

「まが玉づくり」のお知らせ 軽舞事務所も見学できます！

縄文時代から現代の私たちにも受け継がれている美意識の1つ「まが玉」。世界に1つだけのオリジナルの石のペンダントをつくってみませんか。

- ◆日時 令和5年7月9日(日) 10時～12時
- ◆場所 軽舞遺跡調査整理事務所
- ◆定員 先着20名程度(年齢制限なし)
※小学3年生以下は保護者同伴
- ◆参加費 無料
- ◆申込・問合せ 受付期間 : 7月6日(木) 17時まで
軽舞事務所 : 28-2733
メール : shakai@town.atsuma.lg.jp

紙やすりで石を削り、磨いていく、まが玉づくり



石のペンダント「まが玉」

「ガラス玉づくり」のお知らせ 全国注目のアイヌ出土文化財も見学できます！

全国から注目されている厚真町のアイヌ民族出土文化財。九州福岡県や中国産のガラス玉が出土しており、全国巡回展にも出品されています。

アイヌ文化を学びながら、模様入りのガラス玉(トンボ玉)を作ってみませんか。

- ◆日時 令和5年8月6日(日) ※下記のいずれか
午前の部 10時～12時
午後の部 13時～15時
- ◆場所 軽舞遺跡調査整理事務所
- ◆定員 先着各10名程度(小学校3年生以上)
※小学生は保護者同伴
- ◆参加費 無料
- ◆申込・問合せ 受付期間
7月24日(月)～8月2日(水) 17時まで
軽舞事務所 : 28-2733
メール : shakai@town.atsuma.lg.jp



模様入りの「トンボ玉」



昨年度のガラス玉づくりの様子

日本陸上公認厚真中グラウンドで「陸上教室」

教育委員会では、5、6年生を対象に、5月30日に上厚真小学校、6月2日に中央小学校で、「陸上教室」を今年5月に日本陸上連盟の第4種ライトの公認を取得した厚真中学校のグラウンドで行いました

(陸上教室は、各小学校の体育授業と生涯スポーツ振興事業を組み合わせた学社融合事業として実施)

講師は、短距離で、アジア大会や世界陸上の出場経験のある北風沙織さん(現 北翔大学陸上部監督)で、ポイントマーカーを使用したリズム走の指導や走る時のフォーム、体重移動などの方法など「速く走るためのポイント」について学びました。北風さんは、実際に模範走を子ども達に示しながら、わかりやすい指導を行っていました。

この「陸上教室」を通して、「速く走るためのポイント」を学んだ子どもたちは、「早く走れるようになった」と運動会での活躍を楽しみにしているようでした。



北風さんの模倣走(上厚真小学校)



児童たちのリズム走(厚真中央小学校)

ディスカバリーカルチャー

教育委員会では、多世代への多様な学習機会の提供を目的に「プラネタリウム×〇〇〇」をテーマに、ディスカバリーカルチャーを開催しています。

令和5年度第2回目となるディスカバリーカルチャーは、「地域で支える認知症」をテーマとして、住民活動団体「つむぎ」の代表である村上朋子さんを講師に招き開催します。

右記のとおり開催しますので、認知症の方々に対する理解を深めるきっかけの一步として参加してみませんか？皆さんのご参加お待ちしております。

【申込み・問合せ】

教育委員会社会教育グループ
☎27-2495

—Discovery culture— 7月2日（日）

プラネタリウム

×地域で支える認知症

Discovery culture ディスカバリーカルチャー

この事業は、プラネタリウムの定期投影会に合わせて、多種多様な学びの機会を提供するものです。

第2回「プラネタリウム×地域で支える認知症」

【内容】
今回のディスカバリーカルチャーでは、「認知症」をテーマにします。認知症の方々が感じる世界を体験しながら、理解を深め、認知症とともに幸せに生きる未来をつくるきっかけになればと思っています。ぜひ、ご参加ください！

日時 7月2日(日)10:00~11:30

場所 厚真町青少年センター (厚真165番地の1)

対象 どなたでも(定員20名)

申込 厚真町教育委員会社会教育グループ
TEL 0145-27-2495



住民活動団体「つむぎ」代表
認知症世界の歩き方公認ファシリテーター
村上 朋子さん

新しい何かに出会う場所

令和5年度厚真町第2回二十歳のつどい開催します！

実行委員募集！ 一生の思い出に残る一日を一緒に企画しませんか？

今年度も下記のとおり、20歳になる方を対象とした「令和5年度厚真町第2回二十歳のつどい」を開催します。開催に向けて、当日の運営の企画立案等に携わる実行委員もあわせて募集しますので、ご協力をお願いします。

【令和5年度第2回厚真町二十歳のつどい】

日時 令和6年1月7日（日）午前中を予定
場所 厚真町総合福祉センター
対象 平成15年4月2日～平成16年4月1日までに生まれ、本人または両親が町内に在住している方（町外へ転出した方も参加可能）
※案内については、10月頃、対象者へ送付する予定です。なお、案内が届いていない場合は、お問い合わせをお願いします。



一生に一度の
節目を大切に

二十歳のつどい
実行委員募集しています

一緒に
0から考えませんか？
令和5年度第2回二十歳のつどい開催日時
令和6年1月7日（日）午前中を予定

【実行委員会の募集について】

令和3年度から、対象者自らが運営に携わり、一生に一度の節目をより充実したものにするため、実行委員会を立ち上げています。上記対象者で、実行委員会の活動に興味がある方は、下記まで申し込み、お問い合わせをお願いします。

【申込み・問合せ】

教育委員会社会教育グループ ☎27-2495

募集対象 平成15年4月2日～平成16年4月1日までに生まれ、本人または両親が町内に在住している方(町外へ転出している方も参加可能)

内容
・自ら当事者として企画・立案していきます
・二十歳のつどい実施までに年間3～4回程度実施予定です。
※オンラインでの参加も可能です

こんなこと
話します

どんな記念品だ
いいかな？

思い出に残る
1日を作るための
アイデアを



申し込みフォーム

申込方法
★厚真町教育委員会社会教育グループ(0145-27-2495)へ電話申し込み
※7月7日(金)締切
※もしくは右記QRコードからも申し込み可能です。

実行委員募集ポスター
※詳細はHPをご確認ください。

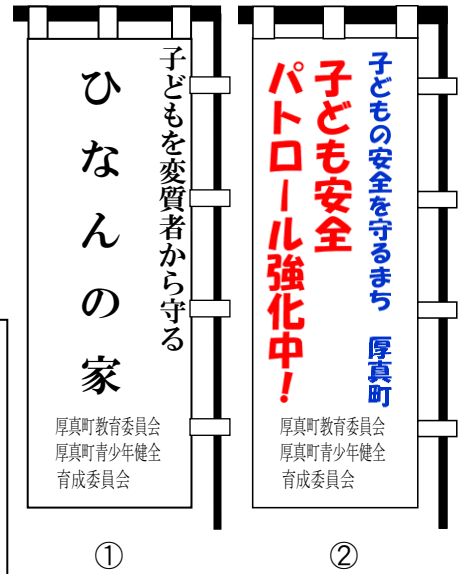
子どもたちの安全確保のため “のぼり”を掲揚しています

★犯罪や事故から子どもを守り、地域の中でのびのびと生活できるよう、緊急避難場所の目印となる『ひなんの家』①と犯罪抑止を目的とした『子ども安全パトロール強化中!』②の“のぼり”を町内適所に設置しています。

～お願い～

職員が地区巡回等で“のぼり”の点検・交換を行っていますが、消耗の激しい“のぼり”が目につきましたら、ご一報いただけますようお願いいたします。

【連絡先】教育委員会 社会教育グループ
☎ 27-2495



道みんの日

～7月17日は「北海道みんなの日」～

「北海道の価値を見つめ直し、これからの北海道を考える日」



詳細についてはこちら↑

5月定例教育委員会

5月31日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

◆報告事項

第1回厚南地区学校運営協議会について／厚真町教育研究所第1回全体研修会・部会研究について／第1回中央地区学校運営協議会について／第1回厚真町いじめ問題対策連絡協議会について／その他6件

◆議案

厚真町いじめ防止基本方針の一部改訂について／令和5年度厚真町育英資金の貸付け（早期貸付）について／教育委員会事務局職員の人事について

◆協議

厚真町議会第2回定例会提出補正要求について

◆その他

「(仮称) 田舎まつりパレード盛り上げ隊」の実施について

★問合せ

教育委員会 学校教育グループ
☎ 27-2494

学校プール利用のお知らせ

次のとおり、一般の方に厚真中央小学校と上厚真小学校のプールを開放します。お気軽にご利用ください

◆期間 7月13日(木)～9月2日(土)
※8月14日(月)～8月16日(水)
は学校閉庁日のため利用できません。

◆時間 ○平日

14時00分～17時00分

○土日・祝日・夏休み期間

10時00分～17時00分

※昼休みのため、12時00分から13時00分の間は利用できません。

★問合せ 教育委員会 学校教育グループ

☎ 27-2494



図書室だより

青少年センター図書室

TEL 27-2495 (平日)

TEL 27-2321 (土日)

AIとChatGPTが教えてくれる未来の可能性！おすすめの本をご紹介します。

Microsoft copilotで「AIやチャットについての記事の見出しを考えてもらえますか？」と入力したところ、この見出しを提案してくれました。防災無線やニュースでもAI入力の音声が使われ、市町村や企業のホームページを開くと「何が知りたいですか？」とAIのキャラクターが案内をしてくれます。身近な所で活用が始まっているAI(Artificial Intelligence:人工知能)ですが、よくわからないままに使っていませんか？そんな時は図書室の本で調べてみませんか。AIやChatGPTの仕組みを理解すれば、良きパートナーになれますよ。

◇ニュートン(月刊誌)◇

科学雑誌の草分け的存在。雑誌という媒体を活かして取り上げるテーマも新しい。AIもChatGPTについても取り上げられています。

- 「AIのしくみと活用がこれ1冊でしっかりわかる教科書(技術評論社)007.1」
本書は技術工学についてある程度わかっている人向けの少し難しい本ですが、AIについて学びたい人にはおすすめの本です。
- 「先読み! ChatGPT(インプレス)007.13」
ChatGPTに興味のある方は、ぜひ読んでみてください。

よりみち学舎 + 図書室で 高校生に本に触れる機会を

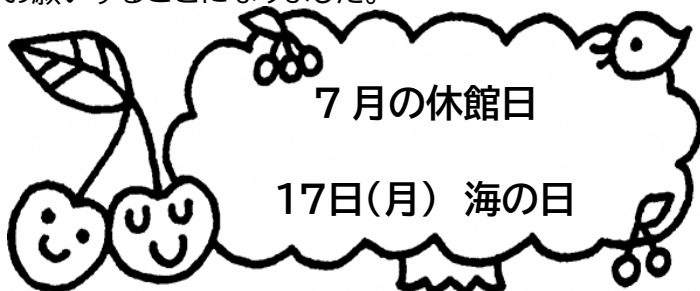
厚真高校で生徒の挑戦を応援している公営塾「よりみち学舎」が中心となり、厚真高校生に本を読むことの楽しさを味わってもらう取り組みを6月から始めました。

毎年、青少年センター図書室に職場体験に来る生徒はいますが、厚真高校からは距離があり、学校帰りに、図書室に来る生徒はほとんどいません。でも、高校生の時に読んでほしい本があるので、よりみち学舎さんに厚真高校図書室で出張図書室をお願いすることになりました。

出張図書室は、2週間に1回、火曜日に行っています。厚真高校生のみなさん、よりみち学舎スタッフにおすすめ本を聞いて、面白い本を見つけてくださいね。*青少年センター図書室には「ティーンズコーナー」があります。



よりみち学舎のスタッフ3人が厚高生のために選書した記念すべき初回の本。



7月の休館日

17日(月) 海の日

■青少年センター図書室開館時間

9時00分～17時00分(月・水・金・土・日)

9時00分～19時00分(火・木)

※祝日、年末年始は休館となります。

■厚南会館図書室

9時00分～17時00分(月～日)

※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。

7月の「おはなしのびっ子」による絵本の読み聞かせは、
27日(木) 10時00分から10時30分まで
場所：子育て支援センターです。

☆ 放課後子ども教室活動報告 ☆

6月は運動会シーズンです。「ただいま」と帰ってくる子どもたちも日焼けをし、たくましさを増しています。運動会当日、保護者の方に混ざって子どもたちの応援をしにいきました。運動の得手不得手はありますが、目標を持って一生懸命に取り組む姿は、人の心を打ちます。子ども教室で見せるリラックスした表情とはまた一味違う顔を見せてもらいました。

芽吹いた草木が枝葉を伸ばし、新緑の鮮やかさから緑が深まる季節。放課後子ども教室では、久しぶりにヨモギを天ぷらやお団子にして、春の山菜を味わいました。そもそも、ヨモギはどこにはえていて、どんな形をしているのでしょうか？校庭周辺でもよく見かける身近な野草です。自分が摘み採ったものがヨモギだと区別する大きな手がかりは？と聞くと、「匂いでわかるよ。葉みたいなにおいがする」との答えが返ってきました。匂いの他に、ギザギザとした葉っぱの形や、葉の裏側に白い羽毛のような繊維があることなどをヒントに探してみると、子どもたちはすぐに見つけられるようになっていきます。身近な自然を体感するとき、目で見ることだけではなく、匂いを嗅いでみたり、触ってみたり、そして、コロナ禍で疎遠になっていた味わう体験が再び出来るようになったことがとても嬉しいです。引き続き、感染症拡大防止につとめながら、子どもたちが五感を使って、身近な自然や地域の産業に触れる機会を今後もつくっていきたいと思います。

日頃、何かと体を使って遊ぶことの多い子ども教室ですが、運動会の練習が重なる時期には、体も心もゆったり過ごせるようなプログラムを企画しています。今回は、5～8メートルほどの大きな模造紙に絵を描くラクガキ大会を行いました。いつもやんちゃに遊んでいる子が見真似て描くことにたけていて、色づかいも豊かに集中して描き込む姿に出会いました。こんな一面もあるのかとびっくりすると同時に、活動を通じて子どもたちの新たな特技や好きなことを知れるのは、とても楽しい時間です。他にも周りの友だちと合作で背景や建物、人物や動物を書き足して1つの絵にしていくグループがあったり、同じキャラクターを描いて誰が一番似ているかのコンテストなども開かれました。時間いっぱいまで心ゆくまで楽しんだ子どもたちです。

